

株式会社 F・ジャパン

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘25-3

TEL 0739-26-7297 FAX 0739-26-0506

HP : <http://f-japan.holy.jp>**熱中対策をしっかりと！熱中症に気を付けて！****暑い日の車内事故を防ぐためには...**

暑い日の車内事故を防ぐためにはどうしたらよいのかをみてみましょう。

わずかな時間でも、車から離れるときは車内に誰も残さない！

夏の暑い日に注意が必要なのは、子どもやペットだけではなく、高齢者は、温度・湿度に対する感覚が弱くなるため、気付いたら熱中症が進んでいる危険性があります。また、子どもの中でも乳幼児は、体温調節の機能が未発達なうえ、自身で暑い車から脱出することは不可能なため注意が必要です。わずかな時間でも、駐車して車から離れるときは、車に誰も残さずに車外に連れて出しましょう。

**熱中症の疑いがあるときは、涼しい場所へ避難し、服を緩めて体を冷やそう！**

乗員がぐったりしているため救急要請をしたとしても、場所や状況によっては救急隊が到着するまで、数十分も時間を要することがあります。熱中症の疑いがあるときは、涼しい場所へ避難し、服を緩めて体を冷やすなど速やかな措置を行いましょう。

車内温度を最も早く下げるには、エアコンを作動して走行する！

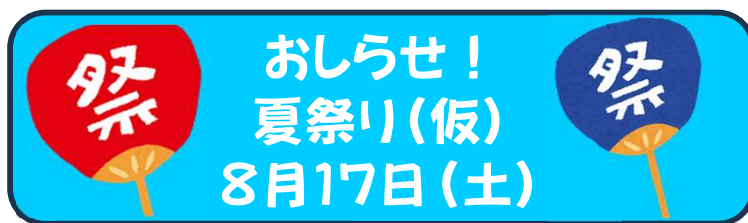
車内にこもった熱気はエアコンを作動しながら走行する方法が最も短時間で効率的でした。

(1)窓を全開にし、エアコンを外気導入にして走り出し、車内の熱気を出しましょう。

(2)熱気が出たら窓を閉め、エアコンを内気循環にして冷やしましょう。

車内の温度を下げるため冷却スプレーを使用した際は、直後に煙草を吸うなど火を点ける行為は止めましょう。

服やシートなどに残っているガスに引火する危険性があります。

**お気軽にご相談ください！ ご相談だけでもかまいません**

私たちは、お客様一人ひとりに合わせた保険をコンサルティングいたします。